

## 協和キリングroup リスクマネジメント基本方針

制定：2016年1月1日

改定：2021年1月1日

1. 協和キリングroup（以下、当社group）は、経営理念および価値観のもと、経営目標を実現することが持続的成長と中長期的な企業価値の向上につながるものと認識し、その実現を図るためにリスクマネジメントを実行します。
2. 当社groupにおける「リスク」とは、「経営目標に与える不確かさの影響」をいい、機会および脅威を含みます。
3. 当社groupは、ラインマネジメントの責任で未経験なリスクにも先手を打って対応するためのフォワードルッキングなリスクマネジメント体制を整備します。
4. 当社groupは、クライシスの予防、発生への準備、早期発見、迅速な対応を統一的に行うことで、レジリエント（※）な組織となります。  
※「レジリエント」とは、困難な状況にも、しなやかに適応する能力をいいます。
5. 当社groupにおける「クライシス」とは、経営目標の達成を阻害する事態のうち影響が甚大かつ緊急対応を要するものをいいます。
6. 当社groupは、クライシスが発生した場合、人命や健康への配慮を優先します。また、クライシスの影響を最小限に留め速やかに正常な事業運営に復帰するための行動を迅速・的確に行います。
7. 当社groupは、リスクおよびその対応状況を定期的に確認し、当社の取締役会へ報告します。

以上